

沖縄県



98 今帰仁城

なきじんじょう

--- 100名城 ---

2023.05.13

10の曲輪を構えて
いた北山王の居城

本州の様々な石垣を見てきましたが、この沖縄は独特の文化による築き上げられたもので、曲線の石垣とその美しさで圧倒されます。



ユネスコ世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

別名： 北山城、今帰仁グスク

#「おもろさうし」に見える今帰仁の古名は「みやきせん」と言う。
→1531年～1623年にかけて首里王府によって編纂された歌集

今帰仁城は、山北(北山)王の居城で、その後中山が三山を統一後には琉球王府から派遣された監守という役人の居城となった。外郭を含めると7つの郭からなり、その面積は首里城とほぼ同等。石垣は地形を巧みに利用し曲線を描き、城壁のディテールは美しく、沖縄屈指の名城です。

2000年に・No.99中城城跡・100首里城跡・199座喜味城跡・200勝連城跡 の(続)名城計4城と、園比屋武御嶽石門・玉陵・識名園・斎場御廟と共に98今帰仁城跡の九つの資産が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産リストに登録されました。



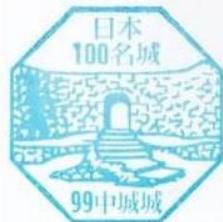
99 中城城

なかぐすくじょう

--- 100名城 ---

2023.05.14

先中城接司が中城湾に
臨んで築いた堅城



今帰仁城同様に石垣の曲線の美しさと、広大な広さに圧倒されます。石垣も3様を見られ、潜り通路のアーチ型積みの高い技術が伺われ、楽しいお城廻りとなりました。

ユネスコ世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

15世紀の琉球王国・尚泰久王代、護佐丸のグスク(城)として知られる。築城された時期は不明。

当時貿易港であった屋宣港から2Kmほど離れた標高約160mの丘陵上にあり、東崖縁を天然の要害としていた。

沖縄県

FB - 172

沖縄県

中城城跡には三種類の石積みがあります



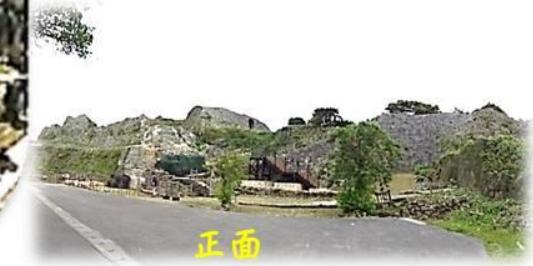
野面積み

布積み(豆腐積み)

あいかた積み(亀甲乱れ積み)



上空から見た中城城



100 首里城

--- 100名城 ---
2023.05.15

琉球王国の栄華を伝える
華麗なる王城



首里城の正殿消失は残念ですが、他の名城もあり沖縄の城跡巡りを敢行しました。幸いなことに正殿は焼失しましたが、世界遺産である正殿基壇（きだん）の遺構（いこう）及び園比屋武御嶽石門は免れており（それ以外のいろんな建物・門（広大な敷地のため）なども焼失を免れている。）満足のいく見学でした。

ユネスコ世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

別名： 御城・首里の御城・中山
・ウグシク・スイスウグシク ・チューザン

琉球王朝の王城で、沖縄県内最大規模の城です。1945年の沖縄戦と戦後の琉球大学建設によりほぼ完全に破壊され、わずかに城壁や建物の基礎などの一部が残っている状態でした。

1980年代の琉球大学の移転にともない、本格的な復元は1980年代末から行われ、1992年に、正殿などが旧来の遺構を埋め戻す形で復元された。その後2000年12月、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されたが、登録は「首里城跡」であり、復元された建物や城壁は世界遺産に含まれていない。

そして2019年10月31日の深夜の火災により、全焼・焼失または焼損した。

沖縄県

FB - 173



焼失前の正殿



工事遮蔽板前（後方正殿の描）



首里城公園 (グーグルマップ)

日本で11番目の世界遺産として文化遺産に登録された9ヶ所。

座喜味城



首里城



園比屋武御嶽石門



玉陵



識名園



今帰仁城



勝連城



中城城



那覇城



守場御嶽



199 座喜味城

ざきみじょう

---続100名城---

2023.05.13

築城名人護佐丸により
赤土の台地に築城



日本ではまだ土塁での城(櫓・砦)が主流の時代に、
石垣造りのお城には驚きと、五稜郭のような星型様
の攻守両面を持った城づくりには感服です。

ユネスコ世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

FB - 174

別名: ・読谷山城 ・座喜味グスク
よみたんやまじょう

築城家として名高い読谷山按司、護佐丸によって築かれた
といわれる15世纪初頭の城。

城郭の外周は365m、城郭内面積は7,385m²。

城門のアーチに楔石を用いており、アーチ門では瓦が出土
しない事からかつてあった建物は板葺きと考えられています。

沖縄県



この跡の拱門(アーチ門)の上部くびげ石

200 勝連城

かつれん じょう

---続 100名城 ---

2023.05.14

権勢を誇った
阿麻和利の大城郭

あまわり

沖縄県の5(続)名城の中で一番標高の高い所
に有り、一の曲輪での見晴らしは抜群でした。



ユネスコ世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)

別名: ・勝連グスク

勝連城は、14世紀、勝連接司によって築城されたと考えられているが、いっぽうで12世紀から13世紀頃には既に築城が始まっていたとする説もある。

勝連半島の南の付け根部にある標高60mから100mの丘陵に位置する。南城(ヘーグシク)、中間の内、北城(ニシグシク)で構成されている。北城は石垣で仕切られた一の曲輪、二の曲輪、三の曲輪がある。

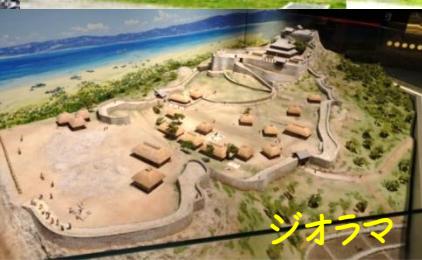


沖縄県

FB - 175



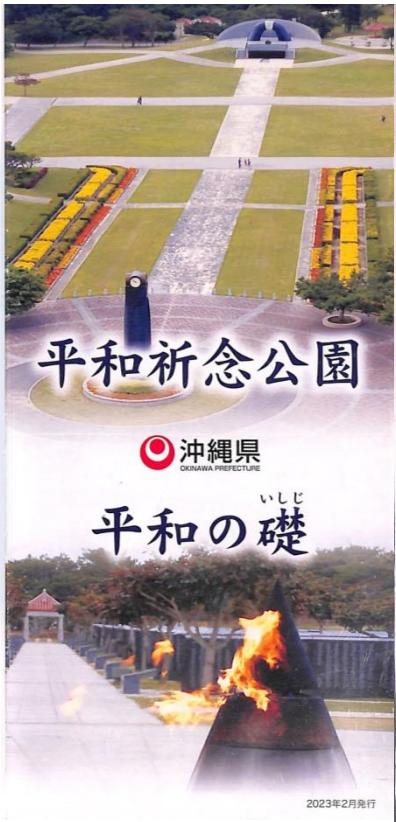
一の曲輪へ



ジオラマ

(続) 日本100名城
沖縄県巡り
---おまけ---

2023.05.12



海洋博公園

園内を遊覧車が運行しています。



平和記念公園

2023.05.14



国際通り
ゆいレール



2023.05.13